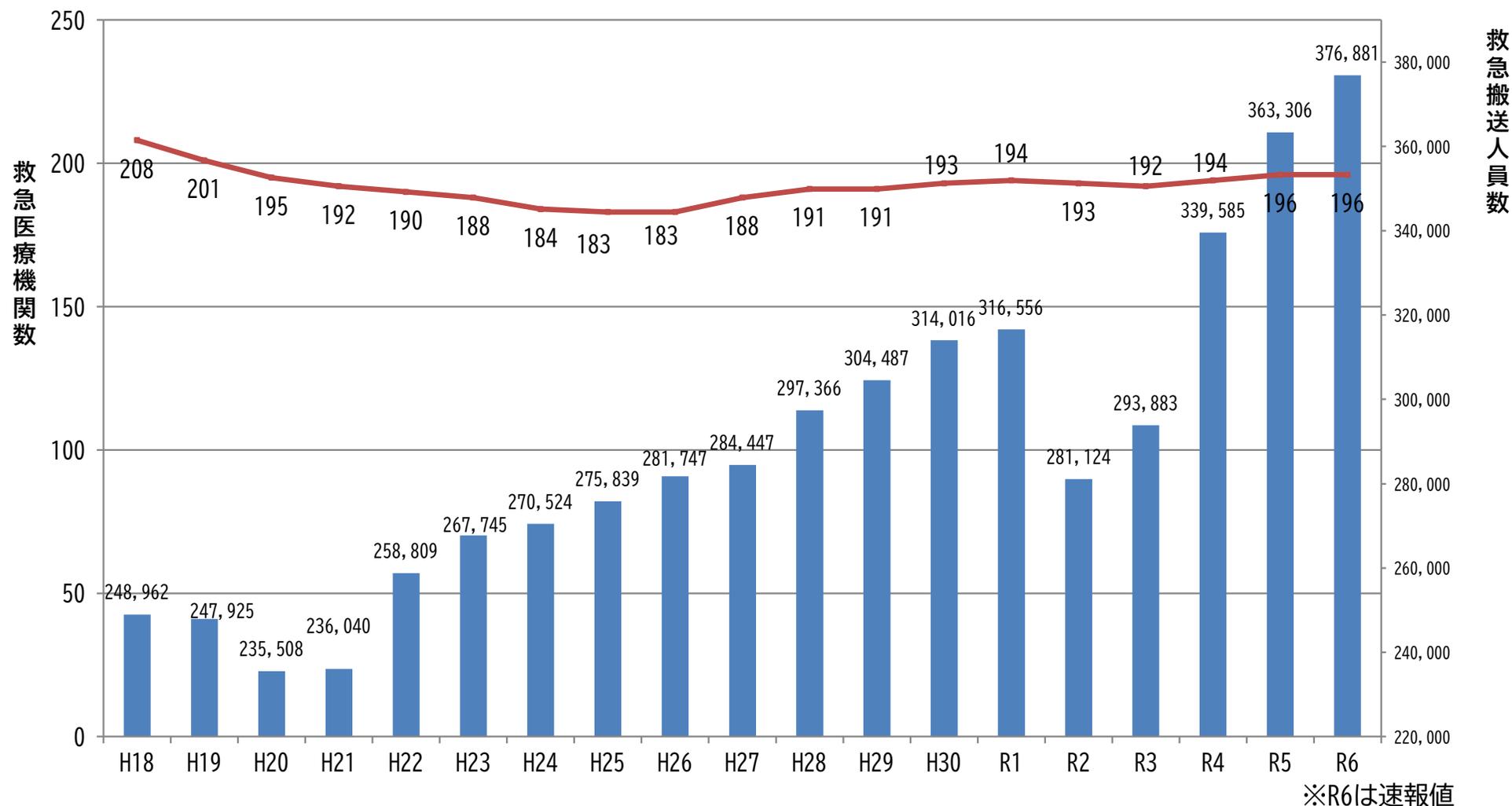


埼玉県の救急医療を取り巻く現状①

救急搬送患者が増加する一方、救急医療機関数が横ばいであり、1救急医療機関当たりの負担が増加している。

(令和2年については新型コロナウイルスの影響等で救急搬送患者が大きく減少)



埼玉県の救急医療を取り巻く現状②

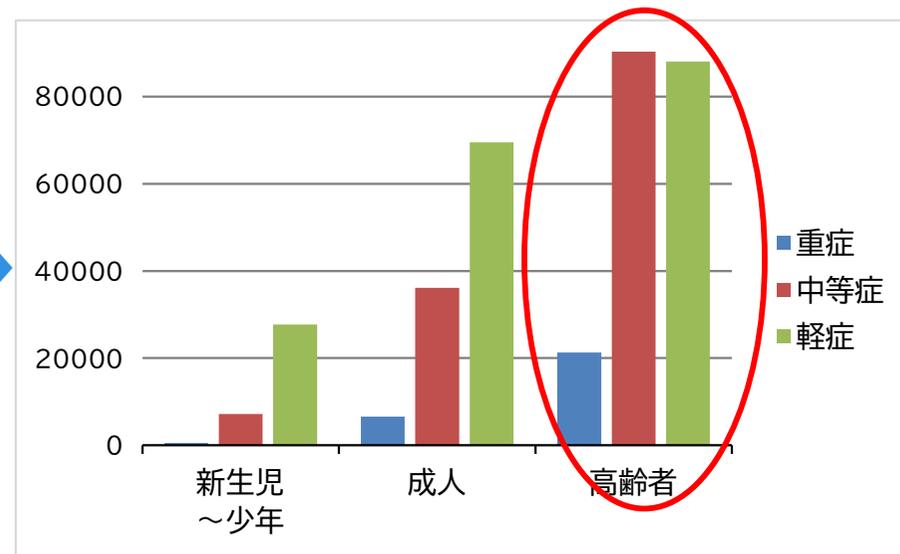
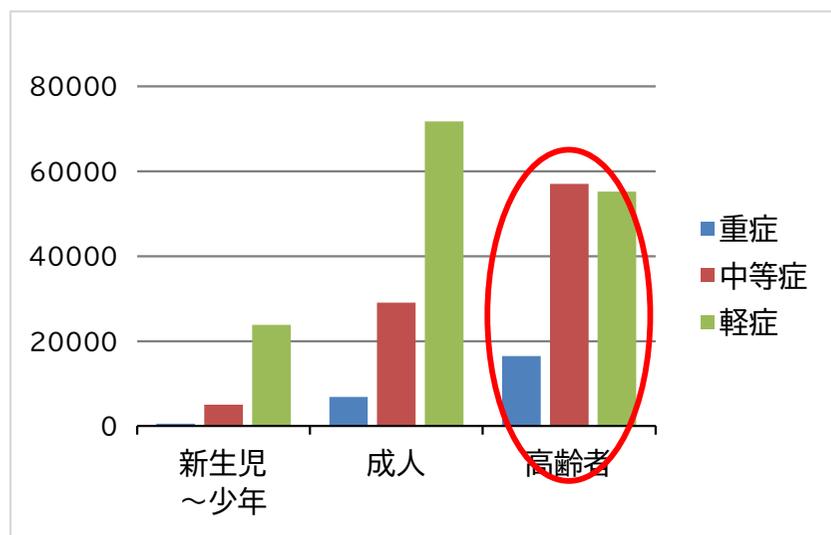
救急搬送人員数の伸びは、特に高齢者が多い（平成25年に比べて約65%増）

平成25年

	新生児 ～少年	成人	高齢者
重症	628	6,477	17,153
中等症	5,314	29,101	60,625
軽症	23,186	70,799	58,349
合計	29,128	106,377	136,127

令和6年（速報）

	新生児 ～少年	成人	高齢者
重症	544	6,577	21,309
中等症	7,178	36,132	115,733
軽症	27,680	69,501	88,059
合計	35,402	112,210	225,101



※新生児～少年…0～18歳未満
高齢者…65歳以上

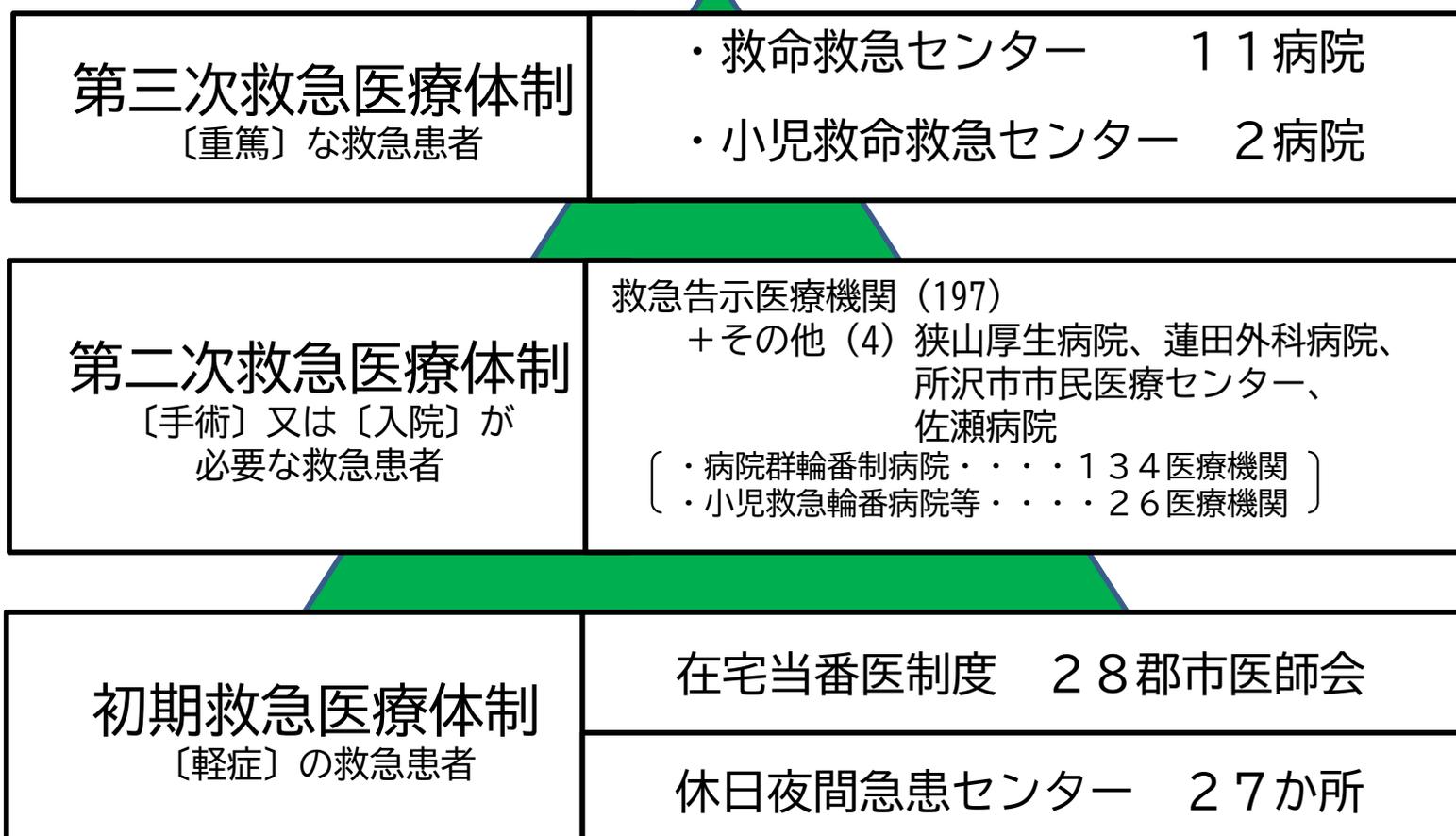
※死亡・その他を除く 2

埼玉県の救急医療体制①

埼玉県の医療資源

病院 339 診療所 4,637

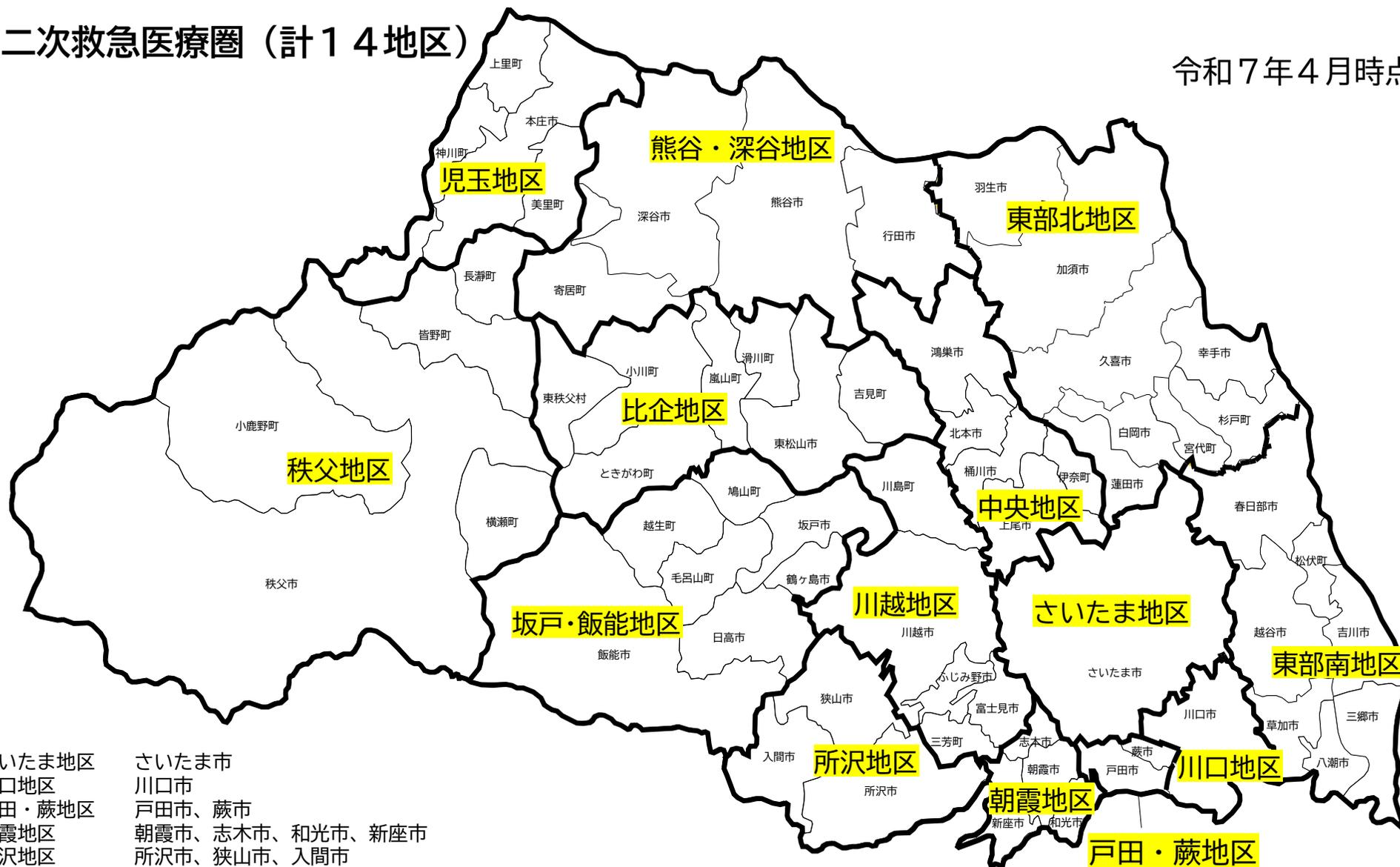
うち、救急医療機関 病院 181 診療所 16



埼玉県の救急医療体制②

第二次救急医療圏（計14地区）

令和7年4月時点



- さいたま地区 さいたま市
- 川口地区 川口市
- 戸田・蕨地区 戸田市、蕨市
- 朝霞地区 朝霞市、志木市、和光市、新座市
- 所沢地区 所沢市、狭山市、入間市
- 川越地区 川越市、富士見市、ふじみ野市、三芳町、川島町
- 中央地区 鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
- 熊谷・深谷地区 熊谷市、行田市、深谷市、寄居町
- 児玉地区 本庄市、美里町、神川町、上里町
- 比企地区 東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、ときがわ町、東秩父村

- 坂戸・飯能地区 飯能市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、鳩山町
- 秩父地区 秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町
- 東部北地区 加須市、久喜市、幸手市、蓮田市、羽生市、白岡市、宮代町、杉戸町
- 東部南地区 草加市、越谷市、三郷市、八潮市、吉川市、松伏町、春日部市

埼玉県の救急医療体制③

第三次救急医療体制

令和7年4月時点

